

# みんなで考えよう 将来の「土地利用」のあり方

## 山本地区土地利用計画検討懇談会だより

### 第2回 検討懇談会を行いました

日時 平成17年1月29日(土) 13:30～16:00

場所 山本公民館

参加 検討委員18名、オブザーバー1名他

当日は、検討委員18名が3つのグループに分かれ、吉田コーディネーターの指導により、ワークショップを実施しました。

今回は、第1回懇談会での意見をもとに地区のよいところや将来こうあって欲しい土地利用の範囲を、山本地区の地図に記入しました。

記入をしながら、山本地区の現状や将来像について議論しました(地図に記入された主な意見は裏面のとおり)。

また農政課から、先日お願いした農家アンケートの中間報告として、農家のみなさんからの意見の概要が発表されました。

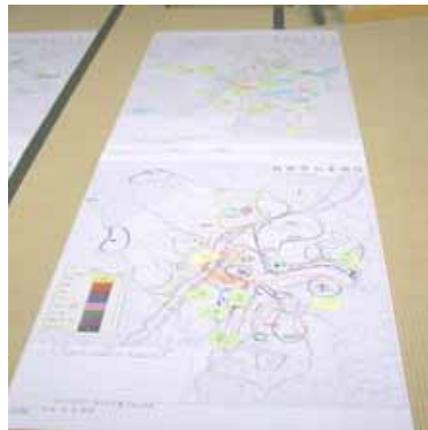
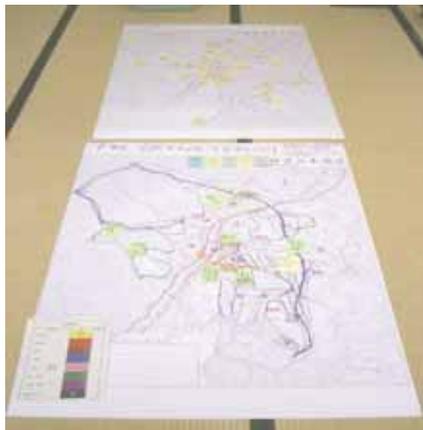
最後に、委員の皆さんに山本地区の地図をお配りし、家族や周囲の方々に山本地区の土地利用の将来像に対するご意見を聞いてきていただくようお願いしました。



グループに分かれて検討しました



グループごとに発表しました



各グループで作成した地図(各班2枚)

～ 第 2 回 の 内 容 ～

共通のよいところ(宝) 主な意見

高鳥屋山からの眺め、青木集落(蚕玉様、水戸浪士の墓)、清内路街道(蛇塚伝説)、七久里神社(はだか祭り、御柱)、ハナノキ、屋外広告物規制(山麓線沿線)、松尾多勢子の生家、近藤氏の陣屋跡、磯丸の歌碑、麦種城址、ホタル、竹佐の陣屋、光明寺(重文)、久米寺と枝垂れ桜、八幡社(久米)、丸山公園(眺望が良い、南アルプス)、遺跡(竹佐、中原、石子原)、鞍掛の石造物、杵原学校、広場、白隠石、ホタル(久米西平)、NPOよつば、城山からの眺め、伊那谷道中、水晶山(露頭、花火打ち上げ)など

各班で将来こうあって欲しい土地利用等について発表いただきました

1グループ

- 杵原を中心に点在する宝(山本地区一帯)をつなぐ「大遊歩道」整備。
- 杵原広場をグリーン・ツーリズムの拠点にする。
- バイパスの開通後は、現在の国道153号線をゆったり歩いて買い物等ができる空間(広い歩道、商住混在)にする。
- 農地・里山は保全、キノコ狩りゾーンの設定。

2グループ

- 歴史的文化的な素材、地域の特徴をいかした整備が必要。
- 里山につながる農林業、観光的な要素としての城山・水晶山を保全する。
- 山本地区には、古くから歴史的なものがある。神社・仏閣など貴重である。歴史的遺産の活用。
- 農振の規制によりゾーン展開しにくい。青木集落への遊歩道、緑の保全も必要。
- 土地に対する共通認識を持つことが大事である。
- 全体的には農住混在地域が広がっている。解決策は我々みんなの努力で検討していく必要がある。行政側も条例等の検討や横断的な対応をお願いしたい。

3グループ

- 話し合っていくうちに自分たちの知らない宝がでてきた。地区には古い遺跡なども多い。
- 杵原が山本地区の拠点になればいけないといった意見でみんな一致した。
- 商業地として現在の国道153号線をオープンカフェや歩道の整備をして、ゆったり買い物ができる場所としたい。これからの高齢化社会では、買い物など車で行けなくなると思う。
- 東平～久米、竹佐長田などにホタルが発生している。是非、保全したい。
- 久米に入ったあたりの水田風景や農村景観が素晴らしい。これは新たににつくれない。

次回、第3回懇談会は次のとおり開催します。

今後も、懇談会の模様をこのような「懇談会だより」として、皆様にお届けします。ご意見、ご感想等ございましたら、事務局までご連絡ください。

日時 平成17年3月12日(土)  
13:30～16:30

場所 山本公民館

内容 前回のまとめを「まち歩き」(地区内視察)で振り返り、その感想等を踏まえながら、今後の土地利用についてまとめましょう。

山本地区内の方でオープン参加を希望される方は、山本支所までご連絡ください。

事務局

飯田市役所 (〒395-8501)

飯田市大久保町 2534 22-4511

E-mail : ikensetu@city.iida.nagano.jp

建設部管理計画課 担当：篠田 内線 2741

産業経済部農政課 担当：小椋 内線 3515

企画部企画課 担当：松平 内線 2226

飯田市役所山本支所 (〒395-0244)

飯田市山本 3378 25-2001